令和３年２月１０日

吸収合併に関する事前開示書面

東京都千代田区外神田六丁目 13 番 11 号
株式会社ミクニ
代表取締役　生田　久貴

１　吸収合併契約の内容

別紙１の吸収合併契約書の通りです。

２　合併対価の相当性に関する事項

本吸収合併に際しては、消滅会社である株式会社ミクニエームが当社の完全子会社であるため、合併対価としての株式等の交付を行わず、当社の資本金及び準備金は増額いたしません。

３　合併対価について参考となるべき事項

上記２のため、ありません。

４　計算書類に関する事項

（１）存続会社についての事項

ア　最終事業年度に係る計算書類等の内容

金融商品取引法による有価証券報告書および四半期報告書を提出しております。

最終事業年度に係る計算書類等については、「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム(EDINET)」又は当社の下記 Web サイトよりご覧いただけます。

https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/
https://www.mikuni.co.jp/

イ　最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

ウ　最終事業年度の末日後の重要な後発事象

該当事象はありません。

（２）消滅会社についての事項

ア　最終事業年度に係る貸借対照表は、別紙２のとおりです。

イ　最終事業年度の末日後の重要な後発事象

該当事象はありません。

ウ　最終事業年度がないときは成立日における貸借対照表

該当はありません。

５　吸収合併の効力発生後における存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

令和２年３月３１日現在の貸借対照表における消滅会社の資産の額は 357 百万円、負債の額は 139 百万円であり、同日現在の貸借対照表における存続会社の資産は 62,365 百万円、負債の額は 44,614 百万円であり、いずれも資産超過となっています。現時点において、吸収合併の効力発生日までおよび効力発生日以後に両者の財務状況を悪化させる事情も存在しません。よって、吸収合併の効力発生後における存続会社には債務の履行の見込みはあるものと判断いたします。

以 上

別紙１



吸収合併契約書

株式会社ミクニ（以下、甲という）および株式会社ミクニエーム（以下、乙という）は、以下の通り吸収合併契約を締結する。

第１条（吸収合併）
甲及び乙は、本契約書の定めるところに従い、甲を吸収合併存続会社とし、乙を吸収合併消滅会社とする合併（以下、本吸収合併という）を行う。

第２条（商号及び住所）
吸収合併存続会社及び吸収合併消滅会社の商号及び住所は、次の通りである。
（１）吸収合併存続会社　（商号）　株式会社ミクニ
　　（住所）　東京都千代田区外神田六丁目 13 番 11 号
（２）吸収合併消滅会社　（商号）　株式会社ミクニエーム
　　（住所）　岩手県盛岡市渋民字岩鼻 20 番地 54

第３条（効力発生日）
本吸収合併の効力発生日は、令和３年４月１日とする。ただし、必要に応じて、甲及び乙が協議の上、これを変更することができる。

第４条（合併対価）
甲は、本吸収合併に際し、乙の株主に対し、その有する株式に代わる金銭等を交付しない。

第５条（甲の資本金及び準備金の額に関する事項）
本吸収合併により、甲の資本金及び準備金の額は増加しないものとする。

第６条（取締役会の承認）
甲及び乙は、効力発生日の前日までに、それぞれ取締役会を招集し、本契約の承認の決議を求める。

第７条（会社財産の管理）
甲及び乙は、本契約の締結日から効力発生日までの間、それぞれ善良な管理者の注意をもって業務を遂行し、資産及び負債を管理するものとし、その財産及び権利義務に重大な影響を及ぼす行為をするときは、事前に相手方の同意を得なければならない。

第８条（本契約の変更）

本契約の締結日から効力発生日までの間、天災地変その他の事由により、甲または乙の資産状態もしくは経営状況に重要な変更が生じたときまたは本契約の目的の達成が困難になったときは、甲および乙は、協議の上、本吸収合併の条件その他本契約の内容を変更し、または本契約を解除することができる。

第９条（協議）

本契約に定めるもののほか、本吸収合併に必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲及び乙が協議の上、これを定める。

本契約成立の証として、本契約書正本１部を作成し、甲が保管するものとする。

令和３年２月１０日

甲　東京都千代田区外神田六丁目 13 番 11 号
株式会社　ミクニ
代表取締役　生田　久貴

乙　岩手県盛岡市渋民字岩鼻 20 番地 54
株式会社ミクニエーム
代表取締役　東海林　敦

別紙２

貸　借　対　照　表

2020年 3月31日 現在

株式会社　ミクニエーム　　（単位:円）

資産の部		負債の部	
【流動資産】	193,692,854	【流動負債】	117,510,366
現金及び預金	25,270,822	支払手形	50,246,100
売掛金	152,291,110	買掛金	25,293,886
製品	5,288,508	未払金	4,895,912
仕掛品	5,697,997	未払消費税等	8,148,800
原材料	2,137,717	未払費用	8,912,332
未収入金	3,006,700	預り金	611,980
【固定資産】	163,605,800	賞与引当金	14,087,000
(有形固定資産)	143,179,522	短期リース債務	5,314,356
建物	65,431,283	【固定負債】	22,242,772
設備造作	11,922,108	預り保証金	5,000,000
構築物	2,159,254	退職給付引当金	11,642,000
機械装置	9,960,384	長期リース債務	5,600,772
工具器具備品	1,064,925		
土地	42,534,968		
リース資産	10,106,600	負債合計	139,753,138
(無形固定資産)	890,900	純資産の部	
電話加入権	451,000	【株主資本】	217,545,516
ソフトウェア	439,900	(資本金)	90,000,000
(投資その他の資産)	19,535,378	(利益剰余金)	127,545,516
出資金	1,890,000	[利益準備金]	6,210,000
長期前払費用	1,231,643	[その他利益剰余金]	121,335,516
長期繰延税金資産	9,333,984	繰越利益剰余金	121,335,516
保証金	3,983,671		
保険積立金	3,096,080	純資産合計	217,545,516
資産合計	357,298,654	負債純資産合計	357,298,654

損　益　計　算　書

自 2019年 4月 1日　至 2020年 3月31日

株式会社　ミクニエーム　　(単位:円)

【売上高】		
売上高	694,703,767	
売上高計		694,703,767
【売上原価】		
期首製品棚卸高	5,585,010	
当期製品製造原価	633,840,660	
合計	639,425,670	
期末製品棚卸高	△5,288,508	
売上原価計		634,137,162
売上総利益		60,566,605
【販売費及び一般管理費】		56,578,456
営業利益		3,988,149
【営業外収益】		
受取利息	10	
雑収入	2,230,524	
営業外収益計		2,230,534
【営業外費用】		
雑損失	270,853	
保証償却費	210,868	
営業外費用計		481,721
経常利益		5,736,962
【特別利益】		
固定資産売却益	22,979	
特別利益計		22,979
【特別損失】		
固定資産除却損	489,025	
特別損失計		489,025
税引前当期純利益		5,270,916
法人税住民税及び事業税		△2,131,600
法人税等調整額		△1,665,566
当期純利益		1,473,750

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 2019年 4月 1日　至 2020年 3月31日

株式会社　ミクニエーム　　（単位:円）

	株主資本					純資産合計	
	資本金	利益剰余金			株主資本計		
		利益準備金	その他 利益剰余金	利益剰余金計			
当期首残高	90,000,000	4,950,000	133,721,766	138,671,766	228,671,766	228,671,766	
当期変動額							
剰余金の配当に伴う積立		1,260,000	△1,260,000	0	0	0	
剰余金の配当			△12,600,000	△12,600,000	△12,600,000	△12,600,000	
当期純利益(損失)			1,473,750	1,473,750	1,473,750	1,473,750	
当期変動額合計		1,260,000	△12,386,250	△11,126,250	△11,126,250	△11,126,250	
当期末残高	90,000,000	6,210,000	121,335,516	127,545,516	217,545,516	217,545,516	